



会報 No.155 令和6年3月号

## 安全・安心な質の高い保育を提供するために

八王子市子ども家庭部長 設 楽 恵

日頃より、本市の保育行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、令和5年12月22日、政府は次元の異なる少子化対策の実現に向けた「こども未来戦略」を閣議決定し、今後の3年間を集中取組期間と決めました。

乳幼児期は、意欲や自制心、社会性や自己肯定感といった非認知能力の育成とともに、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であります。しかしながら、昨今幼児教育・保育現場においては、こどもをめぐる事故や不適切な対応事案が後を絶たない状況にあり、安全・安心な質の高い保育を提供するためには、保育士の配置基準改善が急務であるとして、政府は、2024年度から制度発足以来75年間一度も改善してこなかった4・5歳児の配置基準を、30対1から25対1へ改善することを決定しました。

関連して、これまで複数の企業や団体が、全国の保育士を対象に実施したアンケートによれば、多くの保育士が人手不足により多忙でゆとりがないことを理由に、本当は子ども一人ひとりにもっと丁寧にかかわりたいと思いつつも、できないやるせなさを感じており、中には、子どもからのシグナルにも気がつくことができず、知らず知らずのうちに本来の傾聴や共感から、指示や禁止などを言い聞かせるだけの管理的な保育になってしまっている実感をもち、このままでは災害時や散歩等の園外活動、防犯上においても、子どもの安全を守れないといった不安があることなどが、共通して報告されています。

本市においても、例外でなく、近年の子どもを取り巻く社会環境の変化により、感染症対策や置き去り・窒息・誤嚥事故などをはじめとした事故防止等の安全対策、不適切な保育への対策のほか、複雑化する家庭環境への対応や増加する個別の配慮を必要とする子どもへの対応、子育てに不安を抱える保護者へのサポートに至るまで、幼児教育・保育現場における保育ニーズは益々多様化している状況です。

そのため、これまでも本市では2015年度より中核市の権限を最大限に活用して、国よりも手厚い独自の配置基準を設定してまいりましたが、多様化するニーズに適切に対応し、質の高い保育を提供するためには、これまで以上に安全・安心な保育環境を整えるべく配置基準の見直しを図ることといたしました。

令和6年4月からは、育児支援の充実や個別配慮を必要とする2歳児の配置基準を現行の6対1から都内初の5対1へ拡充し、就学前の円滑な接続のための準備を必要とする4・5歳児の配置基準を現行の27対1から全国でも数少ない20対1へ拡充し、加算措置を行うことといたします。

この度の配置基準見直しにあたっては、日頃からの貴協会の皆様との意見交換により、双方による現状や課題の共有ができていたからこそ、時機を逸することなく国の見直しと同時に、実態に即した判断を速やかに行うことができました。

結びに、幼児教育・保育施設の皆様が、現場の最前線で日々奮闘されながらも子どもたちの命と健康を守り、生涯にわたる生きる力を育てていただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。また、貴協会の皆様には、未来を担う子どもたちのウェルビーイング向上のため、今後も引き続きのお力添えをいただけますようお願いいたします。

# 全 体 会 報 告

令和6年1月30日

令和6年1月30日に京王プラザ八王子にて全体会を行いました。

山下副会長の開会のご挨拶で始まり、表彰を受けた先生方に花束贈呈を行いました。今回の受章は、大塚保育園・石坂芳先生が令和5年度厚生労働大臣表彰、八王子ふたば保育園・山下恵理子先生が令和5年度東京都功労者表彰です。今年度も八王子市私立保育協会からお二人の先生方が受章されたことを私たちも誇りに思います。石坂先生、山下先生、受章おめでとうございます。



石坂先生 花束贈呈



山下先生 花束贈呈



会のはじめに石井会長のご挨拶では、令和6年度より国の保育士配置基準が改正されること、八王子市の単独加算が見直されること、新市長に初宿氏が当選したこと、今後も協会と市が良好な関係作りを行っていくというお話がありました。

続いては八王子市からの行政説明。子ども家庭支援センターからは、虐待防止啓発活動に係るポスター等の掲示及びチラシの配布について、八王子市教育委員会生涯学習センターからは、はちおうじキッズシンガーズのチラシの配布依頼がありました。

子ども家庭部保育幼稚園課からは、障害児加算等を含め市の単独加算が抜本的に見直される予定であること、また市の予算が確定するのは2月中旬頃になること、今回の加算見直しは予算削減が目的ではなく、加算要件をシンプルにし制度の公平性と事務負担の軽減を目指すものであることというお話がありました。また独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構より、日本は2060年には人口8,600万人、60歳以上が5割程度になる見込みで、70歳までの就業機会を確保する措置が努力義務となっているというお話がありました。

その後、各部会より報告を行いました。特に福利厚生部からは「今年度は民踊流しとボウリング大会を行ったが参加者が少なかったため、12月の役員会で事業見直しを行った。両行事の開催を一時休止することが役員会で決定しましたのでご理解をお願いします」と報告がありました。

部会報告の後は各委員会・団体からの報告を行い、休憩をはさんでブロック会を行いました。各ブロックでは、運営費について、感染症の状況について、園児の一次募集の状況について、130万の壁について、保育士不足について、指導監査についてなどなど、情報共有と意見交換ができました。そして折井副会長からの閉会のお言葉で、全体会は終了しました。

全体会後の懇親会では久しぶりの新年会を行い、初宿新市長はじめ来賓の方々からご挨拶も頂き、和やかな時間を過ごしました。

(落合)





# 令和5年度 はちおうじ保育園フェア2023

令和5年9月10（日）に、学園都市センターにて「はちおうじ保育園フェア2023」を開催いたしました。2015年に八王子市私立保育協会主催として第一回を開催し、2020年、2021年の新型コロナウイルス感染拡大による開催中止もあり、今年で7回目の開催となります。当日は青年部の皆様には会場設営や受付等の様々なご協力をしていただき、とても助かりました。この場を借りて御礼申し上げます。

昨年同様14法人にご参加いただき、園数としては44園の出展となりました。また、八王子市役所子ども家庭部、株式会社ムサシ、株式会社チャイルド社にも参加していただきました。

今年度は従来の当協会のホームページ、新聞折り込みチラシ、Webでの掲載、広報はちおうじ、ハローワークや市の施設でのチラシの配布等に加え、SNSを使用し、八王子市役所のLINE、X（旧Twitter）、地元情報サイト（八王子ジャーニー）にて、イベントの告知を行いました。掲載当日から事務局に数件の問合せがあり、協会ホームページのアクセス数も増えました。

はちおうじ保育園フェア当日は、出展法人の皆様は11時から各ブースにて準備を開始しました。また12時50分に、本フェア開催にあたり八王子市私立保育協会会長、石井先生より御挨拶をいただきました。13時より開場し、来場者は各保育園のブースを巡りながら、園長先生や保育士から、それぞれの保育園の様々な特色の説明を受け、就職や実習にあたって多くのアドバイス等を聞いていました。各法人の説明もスライドや冊子などで園の様子を紹介する等、将来仲間になるかもしれない来場者にとってわかりやすいものとなっております。一時期は全ブースが来場者等で埋まる時もあり、終了時間の16時までブースで説明を受ける姿が見られました。最後に中林事務局長より挨拶があり、盛況のうちに終了することができました。

令和5年度の来場者は34名（就職29名、実習5名）で、昨年と比較すると、就職希望者、実習希望者はほぼ同じという結果になりました。今回も学生だけではなく、潜在保育士の方や、保育士資格がなくても保育園で働きたいという方の参加も多く、30～60代の方の来場も見られました。しかし、年々保育士養成校の学生の参加が減少してきており、開催時期の再検討が必要となってきました。各団体、行政（ハローワーク）等と日程の調整などを行っていきたいと思います。近隣の就職フェア等の状況を聞くと、年々参加者が減少傾向にあり、開催しても来場者が10数名程度の自治体もあるという情報もあります。減少傾向にある原因の一つとして、各団体や自治体主催の就職フェアが増えたことによる来場者の分散等が考えられます。そういった状況の中で、皆様の様々なご協力のもと、前回と同数の来場者を保つことができたことは、とても喜ばしく思います。

また、前回に引き続き、今年度も東京都民間保育園協会主催のTOKYO保育フォト展in八王子を、東京都民間保育園協会と八王子市私立保育協会とで合同開催いたしました。今回も、過去に八王子市内の保育園から応募した作品の展示を行いました。来場者のみならず、在園児の保護者の方にも来場していただき、保育の良さを視覚的にアピールできたと思います。

はちおうじ保育園フェアの来場者の集計は下記の通りです。



## はちおうじ保育園フェア2023来場者データ

### 1. 就職希望者：29名

#### ①保育士（取得予定含む）：24名

- (1) 年齢：10代3名 20代8名 30代4名 40代5名 50代5名 60代2名 無記名2名
- (2) 学校名：東京純心大学、白梅学園大学、帝京大学、東洋英和女学院大学、十文字学園女子大学、和泉短期大学、東京保育医療秘書専門学校、アルファ医療福祉専門学校、大原簿記公務員医療福祉保育専門学校（9校 10名）
- (3) 資格有無：有7名 無4名（学生を除く）
- (4) 居住地：東京都 八王子市27名 町田市1名 日野市1名

#### ②栄養士：3名（取得予定含む）

- (1) 年齢：30代2名 40代1名
- (2) 学校名：大竹栄養専門学校他
- (3) 居住地：東京都 八王子市3名

#### ③看護師：2名

- (1) 年齢：20代1名 50代1名
- (2) 居住地：東京都 八王子市2名

### 2. 実習希望者：5名

- (1) 年齢：20代2名 30代1名 40代2名
- (2) 学校名：白梅学園大学、八王子保育専門学院、東京医療秘書専門学校
- (3) 居住地：東京都 八王子市4名  
神奈川県 相模原市1名

- ・各ブースの来場者数：4名～10名
  - ・1人当たりの訪問数：1～7ブース
- 出展法人、来場者からアンケートを提出していただきました。  
以下、アンケートの集計結果です。

### 1. 出展法人の皆様へのアンケート集計

#### ① 開催時期についてご意見をお聞かせ下さい。

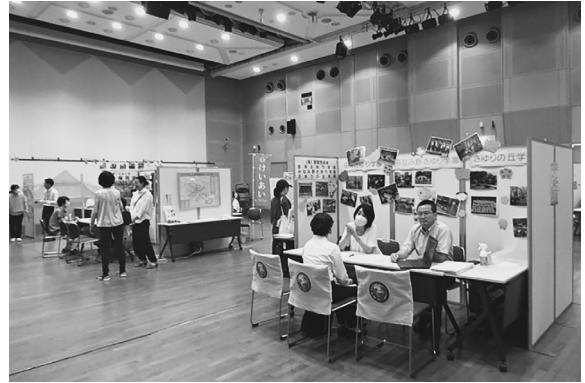
- ・良いと思います（今回は新卒の学生の参加が少ないように感じます）
- ・もう少し早くても良いと思いました（7～8月頃）。
- ・この時期で丁度よいです。
- ・特に問題はありません。

#### ② 開催時間についてご意見をお聞かせ下さい。

- ・準備の時間もたっぷりあり、来場される方も来場しやすい時間だったと思います。
- ・丁度良い時間でした。
- ・長すぎず短すぎず、いいと思います。
- ・日曜日の午後は外に出かけやすいのでいいと思います。
- ・もし午前中も出来るのであればよい（10～15時等）。

③ 会場についてご意見をお聞かせ下さい。

- 交通の便もよく広くいいと思います。
- (参加費が) 安いです。
- 1つ1つの個人スペースの大きさが丁度よかったです。
- 駅から近いのですが集客するのに12階だと判り辛い。PRをもっとしていきたい。
- 今年は多くのSNSを使用してPRしていただきありがとうございます。
- 背面が使えたらもっとよい。



④ ブースの大きさ、配置等についてご意見をお聞かせ下さい。

- 1つ1つの個人スペースの大きさが丁度良いと思います。
- とてもゆったりして飾りやすかったです。
- パーテーションを挟んでのやりとりの中、お互いの声が少し聞こえづらかったです。
- 十分な大きさがあり設営しやすかった。

⑤ フェア全体に対し、ご意見等がございましたらお聞かせ下さい。

- もっと多くの園が参加しても(20園くらい)がいいと思いました。
- きっかけ作りになりますので、とても良いフェアです。
- ぜひ来年度も行ってください。学生が少なかったのが残念でした。
- 毎年参加させていただいています。良いPRの場になっているので助かります。ご担当の先生方本当に大変だとは思いますが、ありがとうございました。

## 2. はちおうじ保育園フェア来場者様へのアンケート集計 回答21件

① はちおうじ保育園フェアをどこでお知りでしたか？

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 学校からの紹介                               | 3名 |
| 知り合いからの紹介                             | 4名 |
| 八王子市役所の掲示等                            | 4名 |
| SNS等                                  | 4名 |
| その他(広報はちおうじ1名、図書館1名、求人広告1名、園長先生の紹介1名) |    |

② 就職先として、現在考えている職種をお聞かせください。(複数回答可)

|              |     |
|--------------|-----|
| 私立保育園        | 15名 |
| 公立保育園        | 8名  |
| 幼稚園          | 2名  |
| 株式会社の保育園、幼稚園 | 4名  |
| 認定こども園       | 7名  |
| その他(施設       | 2名) |

③ 就職・実習先として保育園を選ぶ際に最も重視するものは何ですか？(複数回答可)

|      |     |
|------|-----|
| 保育理念 | 10名 |
| 労務体制 | 9名  |
| 福利厚生 | 6名  |

|             |     |
|-------------|-----|
| 給与          | 9名  |
| 交通の便        | 12名 |
| 職員の雰囲気      | 14名 |
| その他（勤務時間1名、 | ）   |

④ はちおうじ保育園フェアに参加してみて気になる保育園はみつかりましたか？

|     |     |
|-----|-----|
| はい  | 21名 |
| いいえ | 0名  |

⑤ 八王子市の保育園について良く理解できたと感じましたか？

|     |     |
|-----|-----|
| はい  | 20名 |
| いいえ | 2名  |

⑥ フェア全体に対して、ご意見、ご感想がございましたらご自由にお書き下さい

- ・近くで求人が出ている事を知ることが出来、初めて参加しましたが良かったです。
- ・年齢の近い職員さんとお話する機会があり、とても優しくお話して下さり、質問もしやすかったです。
- ・保育士サイトを見るより生の声を聞く事で保育方針や職員の方の雰囲気を知ることが出来良かったです
- ・複数の保育園のお話を聞く事ができて参考になりました。
- ・スタッフの方の紹介していただいたのも、心強かったです。

はちおうじ保育園フェアも開催回数を重ねましたが、開催時期や時間、会場手配の方法、パーティションの配置等、検討すべき事項が多くあります。今回のアンケート結果を基に、さらに改善をしていきたいと思えます。

## 次年度開催に向けて

『実習の段階から保育士を育てること』という八王子市私立保育協会と本フェアの趣旨に基づき、数年前から養成校の実習後の報告会に参加させていただく機会を頂いています。その際に、学生が自分の保育観に合っていない保育園に実習に行ってしまったことや、その園の雰囲気や人間関係で保育士への道を諦めてしまうという話を耳にしました。その状況を改善し、学生の保育園実習の充実を図るためにも、まず実習先を選ぶ段階からその保育園の事を良く知ってもらい、理解したうえで実習・就職に臨んでもらうことで学生と保育園とのミスマッチを防ぎたいと考えております。

その為にも、本フェアが八王子市の多くの保育園の特色を知ることができ、実習や就職先の情報収集の大切な機会となれるように、これからも進めていかなければならないと感じます。また、単なる就職相談会としての開催ではないという、他団体、他自治体の就職フェアとの違いを周知していきたいと思えます。

フェアの内容や、周知方法の見直しなど課題もあります。一人でも多くの学生の方に周知するために、従来の各養成校への案内方法や、一般の方に向けた新聞広告や広報はちおうじ等での周知の方法に加え、SNS等を使用し、さらに工夫していこうと思えます。

会員園の皆様にも、実習生や巡回に来た養成校の教員の方に、はちおうじ保育園フェアの案内のご協力を、是非ともお願いいたします。来場者を増加させ、盛大なフェアにしていきたいと思えます。

出展していただいた法人の皆様、当日の準備、撤収においてお手伝いをしていただいた皆様、また各方面でご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

来年度のはちおうじ保育園フェアについては、他団体や行政主催の就職フェアの日程、会場手配の都合にもよりますが、9月上旬の同時期に開催を予定しています。是非ご参加のご検討をよろしくお願いいたします。



# シリーズ 私の保育園

## 八王子市立石川保育園

園長 高瀬 祐三子

八王子市立石川保育園は昭和26年1月に八王子市石川町に開園、今年73年を迎えました。そして平成23年4月、八王子市の指定管理者制度により、公設民営として社会福祉法人多摩養育園が受託し現在に至っております。

開園当初の石川保育園は木造平屋建てで定員65名でしたが、昭和46年、石川地区の工場誘致地域や八王子市住宅公社による土地建物の分譲もあり人口が急増したことから、園舎を現在の鉄筋コンクリート造平屋建てに改築し、現在築53年、使いやすく温かみのある園舎で、85名の子ども達の保育を行っております。

まず初めにその自慢の園舎についてお話させていただきます。

玄関を通り、第一園庭と第二園庭を抜けると最初に目に入る、園舎中央のテラスに面し、各保育室が並んでいます。保育室と直結しているテラスからは、子ども達が靴を履けば園庭に直ぐに出られる構造です。そして、天気の良い日は子ども達がテラスに大の字に寝転びながら日向ぼっこをする微笑ましい姿や、靴の履けない乳児組さんの靴を履かせてあげる年長児の姿等、年間を通じて様々な子ども達の姿が見られ、家で例えるならば縁側の様な空間でしょうか。そして園舎に入ると長い廊下が全ての部屋に繋がっており、幼児クラスと乳児クラスが兄弟の様に関わり、職員は保育士だけではなく全ての職員が子ども達を見守ります。廊下中央にある調理室の大きな窓からは調理の様子が見られるので子ども達は、調理室を覗いては、「今日の給食はなに？」と給食室の職員との会話も弾みます。そして季節によっては、子ども達が畑で収穫した野菜を使ってのライブ



園庭

キッチンが開催！廊下をつたわり、匂いに誘われた子ども達が集まり、出来立ての野菜をパクリ、苦手な野菜を克服できる子も増えました。

次に当園の大きな特徴として挙げたいのは、地域との関りの強さです。

園舎脇の都道を挟んだ向かい側には、明治41年に開校した八王子市立第八小学校があり、コロナ感染症をきっかけに、ここ数年は、校庭と体育館をお借りし、運動会や遊戯会、親子行事等を行い、まるで小学校は第2の保育園の様です。卒園生にとっても目の前に慣れ親しんだ保育園があることは心強く、園児にとっても小学高就学へ向けての期待の気持ちが自然に育まれます。また、小学校の休み時間と保育園の園庭遊びの時間が重なると、道を挟んで手を振り合い、声を掛け合う姿は石川保育園ならではの光景です。

日常の保育では、地域の方が子ども達に陶芸やお絵描き行事のお手伝い、職員には自衛消防や野菜作りの指導等、仕事で培った経験やスキル、専門知識などを活かし活動していただき、職員も地域の祭りのお手伝いや、ゴミ拾い活動に参加することで、地域の一員としての自覚も芽生えます。また、先日開

催した保育園行事でも会場設営から片付けまで自治会の方の活躍は素晴らしく、小学校の校長先生方も遊びに来てくださり、行事を盛り立ててくださいました。

その時いただいた自治会の方の感想がとても印象的でしたので紹介します。

「地域の行事を通じて小学校、保育園と地域が、この先ももっとりとでも繋がってく事で、きっとそこから何か素敵な事が芽生えると思います」

とても素敵な言葉だなと胸が熱くなりました。このように、保護者の方と職員だけではなく、地域の

方、小学校の先生方、沢山の信頼できる大人に見守られて育っている石川保育園の子ども達は、心身共に健やかに育ち、私たちの保育の基本はここにあるのだと、実感する毎日です。

少子化が加速する中、子どもを産み育てることに希望を持ってない若者も多く居ると言われていますが、これから更に人と人との繋がりを大切に出来る地域作りが重要です。子ども達が自分たちの住む地域に愛着や誇りを持てる地域作りの一翼を担えるような保育園として今後も前進して参ります。



調理職員と園児



さや取り



## 編集後記

今年もまた旅立ちの季節がやってきました。卒園式の挨拶では「これからどんどんお友だちが増えていくと思うけど、今ここにいる仲間は、赤ちゃんから今まで過ごしてきた、みんなにとって人生で初めてのお友だちなんだよ。だからずっと大切にしようね」という決め台詞を用意していたのに、かしまった卒園児たちを前にしてこみあげるものを抑えるのに気を取られ、言うのを忘れてしまいました。来年度こそ、うまくできますように。

ほいく八王子、今回が今年度の最終号となります。1年間ありがとうございました。来年度もよろしくお願ひします。

筒井